

平成 20 年 5 月 16 日

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-7-2

株式会社 QLife

“患者の患者による患者のための”「家庭の医学」
患者同士の英知を結集、wiki で編纂&無料開放

日本最大級の病院検索サイトを運営する株式会社 QLife(キューライフ/本社:東京都世田谷区、代表取締役:山内善行)は、日本初 (QLife 調べ) の生活者参加型「家庭の医学」を作成し、無料で閲覧解放する。従来の家庭の医学にはない「費用」「治療日数」といった情報や、患者自らの投稿写真も掲載する。使いやすさで定評のある米国マインドタッチ社(MindTouch, Inc.)が開発した Wiki システム(※)を採用、β版として編纂を行ってきたが、このほど QLife 会員に開放し編纂を加速する。名称は「みんなで作る家庭の医学」、URL は、<http://wiki.qlife.jp>

※ wiki システム=複数の人によってネットワーク上のどこからでも書き換えができ、共同作業で文書を作成するしくみ。このシステムを使って運営されているサイトとして、フリー百科事典「ウィキペディア」(Wikipedia)が有名。

<従来の「家庭の医学」との違い>

書籍の『家庭の医学』は複数の出版社から発刊されているが、高名な医学権威者が監修し、4-8年に一回程度の頻度で改訂されている。なかには累計400万部を超えるものもあり、一般生活者にとって貴重な情報源になっている。

これに対して QLife 版「家庭の医学」は、「易しく分かりやすいコトバで」「医学の進歩に対して内容を迅速に更新」を目指す。また、「治療にかかる費用」「治療にかかる日数」「痛み方」「どこで気がついたか」「この病気との付き合い方アドバイス」など、先輩患者が患者ならではの視点で情報をシェアする。ユーザー参加型の、実体験に基づいた病名辞書としての強みを活かす。さらに、患部や病巣、レントゲン写真などの画像投稿も受け付けるため、高度な知識がない患者でも情報シェアに参画できる。

<背景>

家族や自身が大きな病気にかかると、インターネット等を利用して情報収集・情報交換する人は少なくない。そのため、特定の疾患に限っては一般医師に並ぶ豊富な知識を持つ生活者も珍しくない。こうした個人の貴重な情報を、シェアできるプラットフォームを提供



することで、同じ病気に悩む多くの人たちに情報提供したり心構えを支援する事が、今回のプロジェクトの目的。

もともと QLife が保有する病院評判口コミのうち、文字数が多い投稿は、医療機関に関する内容よりも罹患体験・治療体験を綴った内容が多くを占める。そのため閲覧者からは、「口コミ文中に現れる病名について、その場ですぐに分かるようにしてほしい」というニーズがあった。

<誰が執筆するか>

現在の編纂者は12人。今後は、現在約13万人のQLife会員に呼びかけ、参画者を1年間で500人程度に拡大する。著作権はGNU Free Documentation License (GFDL)方式。これは、投稿されている情報は商用も含め自由に扱ってよいが、引用元の表示と、二次著作も同じライセンスで自由に利用させる事を条件とするライセンス形態。

<内容の品質管理>

編纂参画者は登録制で、QLife会員に限定して過去の投稿実績などで審査を行う。不正確な書き込みがあった場合には、編纂参画者が自主的に修正する体制を構築する。多くの参画者の知見を重ねることで正確性が増していく。さらに、疾患名ごとに用意された掲示板にて、編纂参画者同士の情報交換や公開ディスカッションを行うことで、医学進歩の実態にあわせて常にアップデートされるようにする。なお、特定の商品名への誘導など、商業的な書き込みは禁止。

<今後はコミュニティサイトへ発展も>

前述のとおり全疾患名ごとに掲示板機能が備わっており、編纂参画者同士でディスカッションを通じたコミュニティを形成することが可能。

さらに、編纂参画者には公開範囲を設定できるマイページ機能を付与している。マイページを使って非公開のマイ闘病記を記録したり、自身が主催者となって「患者会」を組織することが可能。

画面例：痛み方、治療にかかった日数、費用などの情報のほか、患部外観やX線写真も、患者自らの投稿で掲載される"

偽痛風

お探しのキーワード『偽痛風』をハイライト表示しています。ハイライトを解除するにはこのページを再読み込みして下さい。

病名：偽痛風

読み方：ぎつうふう 症状や原因が痛風に似ている事から、偽りの痛風と書いて「偽痛風」という名前が付けられています。

俗称：仮性痛風、関節軟骨(かんせつなんこつ)石灰化症(せっかいかしょう)、ピロリン酸カルシウム結晶沈着症(ピロリンさんカルシウムけっしょうちんちやくしゅう、CPPD結晶沈着症)なども呼ばれています。

発症年齢：痛風と違い、女性にも多く発症します。高齢者(60～80歳)に多いと言われていますが20代、30代でも発症します。(筆者も発症しました)

症状：痛風に似た急激な関節炎が起こります。急性の偽痛風発作は数日、またはそれ以上持続し、1～数箇所の関節が急激に痛みます。膝、足首、肩、肘など(その他の部位も)に発症します。

原因：ピロリン酸とカルシウムが結合してピロリン酸結晶を形成します。ピロリン酸は代謝の過程で作られ、肝臓(かんぞう)などで分解されますが、高齢になって肝臓の機能が低下してくると、ピロリン酸が分解しきれずに残り、このピロリン酸が血液中のカルシウムと結合して、ピロリン酸結晶が作られます。この結晶が膝の半月板(はんげつばん)や関節の滑膜(かつまく)に沈着すると、白血球(はっけつぎゅう)に攻撃され、激しい関節炎症状を起こします。

治療法：急性発作時には局所の安静、冷罌法(クーリング)などを行ない、必要ならステロイド剤の関節腔内注射を行います。ステロイド剤の注射は他に感染などをしていないかどうかを確認してから注射します。(ステロイド注射により感染が悪化するので)ステロイドの注射により、痛みはかなり軽減します。ただ、決定的な治療法はないので対症療法が主体であり、関節機能の再建には人工関節置換術が行なわれることもあります。

痛み：自覚症状：主な症状は関節炎による痛みと発熱です。(発熱は無い事もあります)筆者は左肘に発症しましたが、かなり痛いです。手の置き場がいくらいいです。一人で服を脱ぎ着することもままならないくらいです。

完治までの日数：消炎鎮痛剤を服用すれば、1週間から10日前後で症状はなくなりますが、痛みがかなり強いようなら最初に1～2回ステロイドの注射をうってもらい、その上で消炎鎮痛剤を服用した方が楽です。

この病気と闘う(付き合う)アドバイス：痛風と違い食生活は関係なく、いつでも発症しうる病気です。最初は打ち身かな?ひねったかな?間違えたかな?という痛みですが、徐々にひどくなり耐えられないほどになります。対処療法しかないのでひどくなる前に受診することをおすすめします。原因が分からないのでいつ発症するかまた再発するか分からないのと耐えがたい痛みが特徴の疾患です。

1 - 2 表示中 全 2 画像 | 全て表示 [新しい順](#)



左肘のレントゲン写真
肘2.jpg アクション▼



左肘のレントゲン写真
肘1.jpg アクション▼



<株式会社 QLife の会社概要>

会社名 : 株式会社 QLife (キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-7-2 リングリングビル A 棟 6F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006 年 (平成 18 年) 11 月 17 日

資本金 : 104,700,000 円

事業内容: 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念: 生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念: 感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社 QLife 広報担当 山内善行

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.jp
